講義名	英語A(上級)				授業形態		その他 必要に応じて授業中に指示します。
開講期・曜日・時限 後期 月曜日 4時限							②委におして(文集中に指示します。
担当教員	吉田 浩樹	PURE TO PURE	EX.00 73-EEE 1-4-01	-			Γ
		単位数 2 履修	開始年次 1年生	ナンバ	リング		Γ
主題と概要							
	た英語内容の復習を含め、実用的かつ基本的な英語力の向上を目	指します。また、国際感覚を	を養うために、自ら積極的	りに英語を使ってコミュ	ニケーションをはかろ	うとする態度を育成しま	授業計画
9。 共通教材についる 用し国内外におい	ては、原則CALL教室でパソコンを使いながらオンラインで練習を行って、さまざまな人と議論し学びを深め、社会に役立てることが出	います。 個別教材についまることを目指します。	いては、基本語彙や文法 法	演習、読解演習を取り入	れて行います。また、	習得した知識や技能を活	1. Moodle共通教材オイダンス 個別教材 2. Moodle共通教材Stat 1/ Moodle Quiz Set 1 Unit 1 3. Moodle共通教材Set 1/ Moodle Quiz Set 2 Unit 2 5. Moodle共通教科Set 1/ Moodle Quiz Set 3 6. Moodle共通教科Set 4/ Moodle Quiz Set 3 7. Moodle共通教科Set 1/ Moodle Quiz Set 3 9. Moodle共通教科Set 1/ Moodle Quiz Set 3 9. Moodle共通教科Set 1/ Moodle Quiz Set 3 10. Moodle共通教科Set 1/ Moodle Quiz Set 3 11. Moodle共通教科Set 1/ Moodle Quiz Set 7 10. Moodle共通教科Set 1/ Moodle Quiz Set 7 11. Moodle共通教科Set 1/ Moodle Quiz Set 7 12. Moodle共通教科Set 1/ Moodle Quiz Set 9 12. Moodle共通教科Set 1/ Moodle Quiz Set 10 12. Moodle共通教科Set 1/ Moodle Quiz Set 10 14. Moodle共通教科Set 1/ Moodle Quiz Set 10 14. Moodle共通教科Set 1/ Moodle Quiz Set 10 14. Moodle共通教科Set 1/ Moodle Quiz Set 11 14. Moodle共通教科Set 1/ Moodle Quiz Set 11 14. Moodle Quiz Set 12 課題レポート
713 0 1 1 7 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	. C.	IN DCC CHIE ON 7:					3. NoodleH通教科号t 2/ Moodle Quiz Set 1 4. NoodleH通教科号t 3/ Moodle Quiz Set 2 Unit 2
							6. Moodle 新海教技会 57 Moodle Duiz Set 4 Unit 3 7. Moodle de 清教教授会 16 Moodle Duiz Set 5
							8. Moodle共通教材Set 7/ Moodle Quiz Set 6 Unit 4 9. Moodle共通教教Set 8/ Moodle Quiz Set 7 10. Moodle共通教教Set 9/ Moodle Quiz Set 8 Unit 5
							11. Mood le共通教内Set 19 Mood le Quiz Set 6 Unit 5 11. Mood le共通教内Set 11/ Mood le Quiz Set 9 12. Mood le共通教内Set 11/ Mood le Quiz Set 10 Unit 6
							13. Noodle共通数材Set 12/ Moodle Quiz Set 11 14.
							15. Mood le共通教材期未テスト
到達目標							4
共週教材: 基本語 個別教材: 基本語	彙と文法事項の確認と定着を目指します。 1彙と基本的文法を習得し、さらに読解力を養うことを目標としま	す。演習、読解練習を取り	入れて行います。500~70	0語の英文を読み、その	内容を具体的に説明で	きることを目指します。	
是出課題							1
	- は授業内で紙ベースでの課題提出を求めることがあります。						
							受業形態 (アクティブ・ラーニング)
							ア:PBL(護題解決型学習) - 「反転授業 (知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
							ウ: ディスカッション、ディベート エ: グループワーク オ: ブレゼンテーション カ: 実際、フィールドワーク
							キ:その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)
							準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間
課題 (レポート	・や小テスト等)に対するフィードバックの方法						共通教材: 予習: 次の授業で解説されるセット問題をRyukaボータル上のムードルにアクセスして解く。復習: 授業で解説を聞いた後、次週のクイズ (小テスト) に向けてそのセット問題を復習する。・・合わせ・時間程度 個別教材: 予習: リスニングパートと文法事項の確認。 復習: リスニングパートとリーディングパートの復習、またリーディングパートの音読練習と語彙の復習。・・合わせて2時間程度
	o小テスト問題について授業内で解説します。 個別教材:翌週の	リスニングパート、文法に	ついて授業内で説明しまる	す。各単元における文法	問題を紙ベースで解答	および解説をします。	1
							立 ※ 特別 ・ ※ 外側 トゥナル ・ 以外側 ※ 対日 ゥ 順本
+ · · ·							卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連 基本部分とでは東京を完善させることで変更的かり基礎的が報告力を修復する。また、結解検問を選して海外の社会やで化けっして受け、基本的が結解との変遷解・傾相に集に関則することにより、卒業組に負に
評価の基準 出度状況 超業品	『の活動状況、小テスト、および提出課題などの平常点を50%とし	ます 共通数は期まテフト/	7.但占た2504とします 5	空間試験の得点を25%とし	.± *		基本語彙と文法事項を定着させることで実用的かつ基礎的な語学力を修得する。また、語解練習を通して海外の社会や文化について学び、基本的な語解と内容理解・情報収集に習款することにより、卒業時に身に けておくべき質賞・能力の背成こなける。これもの能力は周宇部生に求められる音楽界の動向や問題点を理解するための基礎知識・経済学部生に求められる経済にまつわる情報分析の力・人間社会学部生に求め れるコミュニケーション能力の修得に促びこ
ш <i>т</i> илл 1₹ *	- の行動がかに 引り入下、めるの提出課題などの干部無を30%とと	(みす。 六四が10州1八) 入口	019m 620/0C 0 & 9 . X	Emiliako iran e 2011 C	74.70		
	,						
36							4
	『の注意・助言他 『参加してください。 英語の基礎力 (語彙および文法) を高めるよ	・	リトの同数を欠度すると	単位が初空されません			双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
10.0010-10.1012-1314	- SMOC (ICCV) AMOVEMENT (MARCON OXIA) CIGO OF	. 55577 0 C (10001)	-XIVIIX EXIII V C	- III IORCC110 C108			LMS(Leaning Management System)であるMoodleをコール教室、および(または)、授業外の自主学習に利用している。
							PROGRAPHET STOR
							実務経験の有無及び活用
教科書]
.pre-intermedia	te Target!.	Akira Morita Makiko Hashimoto	Lio Takehiro	金星堂	1900	9784764740174	<u> </u>
							備考
参考図書							
.なし.							<u> </u>
.なし.]